

1問1点、15点満点
平均：8.95
標準偏差：3.97

『都市の経済学 小テスト No. 2』

以下の各問に答えよ。ただし、解答はマークシート方式となっているので、問題の解答番号に入る数値または選択肢番号を解答用紙（マークシート）に解答すること。

※□で囲まれた数字は解答番号を示す。○で囲まれた数字は選択肢番号を示す。

1. 比較優位について

車の生産が得意だが石油のあまり取れないA国と、車の生産は不得意だが石油の埋蔵量は豊富なB国があるとする。それぞれの国における労働力を1単位ずつ利用した場合の、車と石油の生産量は表の通りである。以下の問いに答えよ。なお、答えは以下の選択肢から選ぶこと。

【選択肢】(① 0.01、② 0.02、③ 0.05、④ 10、⑤ 20、⑥ 50、⑦ A国、⑧ B国、⑨ その他)

表. 労働力1単位あたりの生産量

	A国	B国
車	100台	10台
石油	2キロリットル	200キロリットル

1.1.それぞれの国において、車1台を生産するためにかかる費用は、石油で計った機会費用で計算するといくらになるか？ A国（□1②）キロリットル、B国（□2⑤）キロリットル

1.2.それぞれの国において、石油1キロリットルを生産するためにかかる費用は、車で計った機会費用で計算するといくらになるか？ A国（□3⑥）台、B国（□4③）台

1.3.車の生産に比較優位があるのはどちらの国か？（□5⑦）

2. 交易の利益について

上記のそれぞれの国にある総労働力が10単位あるとする。A国で車と石油の生産に配分される労働力が6:4、B国で車と石油の生産に配分される労働力が3:7であった。このとき、それぞれの国における生産量は表2の通りである。以下の問いに答えよ。なお、答えは以下の選択肢から選ぶこと。

表2.各国の生産量

	A国	B国
車	600台	30台
石油	8キロリットル	1400キロリットル

2.1. A国では比較優位のある財の生産に労働力の7単位を利用することにし、B国では比較優位のある財の生産に労働力の8単位を利用することとした。残りの労働力はもう一方の財の生産に利用する。このとき、各国のそれぞれの財の生産量はどのようにになるか。変化後の生産量について答えよ。なお、答えは以下の選択肢から選ぶこと。

【選択肢】(① 1600、② 700、③ 400、④ 300、⑤ 80、⑥ 20、⑦ 14、⑧ 6、⑨ その他)

【車】: A国（□6②）台、B国（□7⑥）台

【石油】: A国（□8③）キロリットル、B国（□9①）キロリットル

2.2. 労働力を変化させた後、お互いに交易を行うこととなった。交換比率は車1台に対して、石油2キロリットルとする。なお、A国は労働力を変化させることで増産した全ての財をB国との交易に利用する。この条件で交易を行った場合、A国とB国における最終的な車と石油の保有量はいくらか。ただし、交易の際に輸送費や関税などのコストはかからないと仮定する。なお、答えは以下の選択肢から選ぶこと。

【選択肢】(① 800、② 600、③ 406、④ 303、⑤ 206、⑥ 120、⑦ 77、⑧ 8、⑨ その他)

【車】: A国(②)台、B国(⑥)台

【石油】: A国(⑤)キロリットル、B国(⑨)キロリットル

2.3. この結果、比較優位のある財の生産を増加させ、さらに交易を行うと、両国における最終的な財の保有量は ①増加する、②減少する、③変化しない、④定まらない、⑤その他)。それぞれの国が利用する総労働力は ①増加する、②減少する、③変化しない、④定まらない、⑤その他) ことから、交易を行うことが合理的であることがわかる。